

工 事 名			施 工 者 名		
テリハ・リ販売店		担当者名	TEL		
			FAX		

1. 配合計画書関係 ※ 該当する番号を○で囲む

(1) 「呼び強度」の選定

① 旧JASS 5 適用 (2003年版、補正值 T)

② 新JASS 5 適用 (2009年版、構造体強度補正值  $_{28}S_{91}$ )

(2) 「呼び強度」の算出(建築工事)

① 旧JASS 5 による (呼び強度の強度値FN' = 品質基準強度Fq + T)

② 新JASS 5 による (調合管理強度Fm = 品質基準強度Fq +  $_{28}S_{91}$ )

(3) 呼び強度の適用期間の選定

① 旧JASS 5(気温による補正值T)による

② 新JASS 5(構造体強度補正值S)による

(4) 発注スランプの適正

建築及び土木工事における適正なスランプを発注する

① はい

② いいえ

建築工事:現場打設が困難な場合には最適なスランプに変更して発注  
土木工事:原則、発注スランプ=打込み箇所の最小スランプ+現場内運搬ロス+2.5cm(スランプ許容差)で発注

(5) 呼び強度27-18-20及び30-18-20について

高性能AE減水剤使用で発注する

① はい

② いいえ

(6) 「AE減水剤」及び「高性能AE減水剤」の銘柄について

各々の工場の「実績があるもの」とし、銘柄指定はしない

① はい

② いいえ

(7) 現場での混和材料等(繊維補強材等を含む)の投入について

① 現場での投入がある

② 現場での投入はない

種類( ), メーカー( ), 銘柄( )

(8) 指定事項による配合の選択について

① JIS該当品とする

② JIS外品も可とする

(9) 特記事項の確認

① 特記事項がある

② 特記事項はない

特記事項( )

2. 出荷関係

(1) スランプの上・下限要求はしない

① はい

② いいえ

(2) 現場における単位水量試験の実施について

① 現場で単位水量試験が実施される

② 現場での単位水量試験はない

方法( ), 判定値( ), その他( )

(3) 戻りコン制度を十分に理解している

① はい

② いいえ

3. 協組連絡事項 ※ 説明した項目にレを入れる

(1) 出荷時の普通コンクリートの単位水量試験は実施しない

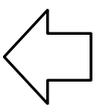
(2) 試し練りは全て有料とする

(3) 試し練りに使用する骨材の当日採取要求があった場合には、不安全行動となることから実施しない

(4) 普通コンクリートの運搬時間の制限は季節を通して、90分以内としている

(5) 製品検査のための安全な試験場所の確保をお願いする

(6) 配合計画書作成依頼書の提出は余裕を持ってお願いする

契約番号			平成 年 月 日
幹事会社	技術	営業	東関東生コン協同組合の検印 
会社名			
担当者名			
共納工場名			
連絡事項			